

(5) 坂口 幸太

所属：八千代エンジニアリング株式会社 事業統括本部 国内事業部 環境計画部

タイトル：ダム事業における保全対策事例～ビオトープ整備の効果検証

技術紹介の要旨：

ダム事業においては、工事着手前に環境調査を行い、生物の生息・生育環境への影響の程度を予測・評価し、実行可能な範囲で影響の回避・低減ができるよう環境保全措置を講じている。国土交通省や水資源機構のダムでは、フォローアップ委員会等で環境保全措置の整備効果について報告を実施しているが、補助ダム事業では、環境保全措置の長期的なモニタリング効果について報告された事例は少ない。

そこで、新潟県柏崎市の鶴川ダムにおいて、環境保全対策として造成したビオトープの整備後約13年間のモニタリングを事例として紹介する。

ビオトープの整備においては、周辺環境の特徴を考慮し、物理環境条件（樹林等の陰影による陽光の変化、水深の深浅等）を踏まえた湿地環境の造成を実施した。また、モニタリングによる動植物の生育・生息状況、移植種、侵入個体、外来種等の結果から整備効果の評価を行い、今後の維持管理手法の留意点や方針について考察した結果を報告する。